

高速交通の時代

- 高度成長期、日本では、**高速道路と新幹線**により、**高速交通の時代**へ
- その地域システム上の意義は、**国土の大半を、大都市圏へ3時間(日帰り)～5時間(翌朝上場)のアクセス圏内にする**という、**立地条件**の大幅改善。

⇒高速交通網の整備・延伸は、今も国土政策と地域の開発政策における重要課題に。

高速道路

- 日本の高速道路は、ドイツの**アウトバーン**を参考に戦前から構想。
- 1957年の「**国土開発幹線自動車道建設法**」
- 1963、**名神**高速道路
- 1969、**東名**が開通。
- 全国展開は**70年代**～

1972年1月の供用・計画路線

供用区間 710.0km
施工区間 2,724km
基本計画区間
予定路線区間

(附 47.1.1)
国土開発幹線自動車道網図
http://www.tanken.com/kokudo.html

今の路線と違う部分は？

高速道路の地域効果(2)

- 「高速道路ができれば市場が広がる半面、産地間の競争も激しくなる。それは貿易自由化と同じことで、日本経済全体からみれば**適地適産**が進み、価格が平準化し、生産は合理化する。」(「日本列島改造論」より)
- つまり... 高速交通化 ⇒ 距離抵抗の減少 ⇒ **競争の広域化** ⇒ **国土全体の合理化**... これがいわゆる「**マクロ**」効果
- しかし一方では、**立地競争**に敗れる企業や地域も生まれるため、新たな「**格差**」(地域間格差, 地域内格差)も生まれる。
- より大きな恩恵を受けやすいのは、**開発前からのポテンシャル**(可能性)が高かった地域。

※「**開発ポテンシャル**」= 結ばれる両地域の**総生産量の積 ÷ 時間距離²**

※「**総生産量**」を「**人口**」にすると「**人口ポテンシャル**」

- ⇒ 国土の中心部に近い地域ほど、効果は**相乗的**に働く。
- ⇒ 国土縁辺の産業密度が低い地域では効果は薄く、何よりも**延伸**してくるまでの**長い期間**, **不利な条件**に置かれる。
- ⇒ **マイナス**の効果(「**ストロー効果**」etc)がより大きい。

1952-73年間の新設1000工場
— 高速道路 国道

京浜からの工場分散は幹線国道に沿って進行

1962-73年間の新設1000工場

http://www.e-nexco.co.jp/pressroom/press_release/tohoku/h28/1220/pdfs/pdf.pdf

高速道路の地域効果

それはひとえに著しい「**時短効果**」↓

都市	一般道路 (時間)	高速道路 (時間)	差 (時間)
伊勢	1:33	2:52	1時間19分
高山	1:38	3:35	1時間57分
飯田	1:15	3:01	1時間46分
富山	3:14	5:38	2時間24分
大阪	2:13	6:37	4時間24分
東京	4:20	12:20	8時間

↑名古屋からのアクセス時間の変化

↑「**時短効果**」がもたらす**地域効果**の例

- 寒村だった**栗東町**は、**名神高速道路**ができたおかげで**200以上の工場が進出し**, 工業地帯に一変。
- それまで農業中心だった**小牧市**は、**名神・東名高速道路**のおかげで**一大流通基地**に変貌。
- 東名高速道路**の開通後、**東京市場**に入荷する**九州産の豚肉**が3倍に増加。輸送時間が約4分の1に短縮されて子豚の輸送疲れが少なくなり、トラック1台あたり**20万円**は余計に儲かるようになった。
- 大阪市場**では、季節になると**東名・名神高速道路**を突走って**福島県の岩瀬きゅうり**, **茨城のピーマン**, **埼玉の長十郎梨**が出回るようになった。

↑これらは、1972年7月、田中角栄の「**日本列島改造論**」に掲げられたもの。主な主張は以下の3点:

- ①大都市に集中しすぎた**工業の地方分散**,
- ②その**インフラ**として**高速交通網の整備**,
- ③都市の**改造**

- 工場立地は85年の超円高以降、地方から撤退・空洞化傾向となった。しかし、**流通業**や**観光行動**に構造的な変革を引き起こした。

http://www.e-nexco.co.jp/corp/construction/effect/timeless/

常磐道の開通効果

常磐道の開通効果

沿線地域の工場立地件数

常磐道整備率 (立地件数)

企業立地時期	立地件数	整備率 (%)
H21	19	45%
H22	7	53%
H23	4	53%
H24	21	53%
H25	35	63%
H26	28	63%
H27以降	18	100%

新たに立地が決定

山元いちご農園の入込数

シーズン	入込数
H24年シーズン (H23.6~H24.5)	1,500
H25年シーズン (H24.6~H25.5)	8,300
H26年シーズン (H25.6~H26.5)	26,000
H27年シーズン (H26.6~H27.5)	52,000

約2倍

http://www.e-nexco.co.jp/pressroom/press_release/tohoku/h28/1220/pdfs/pdf.pdf

・マイクロ地域効果

… IC周辺のアクセシビリティの劇的改善

・貨物 ⇒ 広域物流に依拠する倉庫・配送施設、流通・工業団地(下表)etc.

・小売 ⇒ 広域商圏に依拠する巨大SCがぞってIC近接地へ
 ・eg: 江釣子SC(北上江釣子IC), 御所野イオン(秋田南IC), 盛岡イオン(盛岡IC), 石巻イオン(石巻河南IC) etc.
 ・仙台 ... 三井アウトレット(仙台港北IC), 泉大沢イオン(泉IC)

東北の大規模流通団地 (2009.10現在)

	面積 ha	事業 所数	完工 年	最寄IC	距離
青森	52.2	135	1970	青森中央	至近
八戸	32.3	73	1973	八戸, 八戸北	3km
盛岡	55.3	168	1983	盛岡南	1.5km
花巻	31.4	14	2003	花巻空港	至近
仙台	55.7	272	1970	—	—
山形	29.9	107	1983	山形北	至近
南東北	32.9	62	1976	郡山	至近



スキー・ブーム

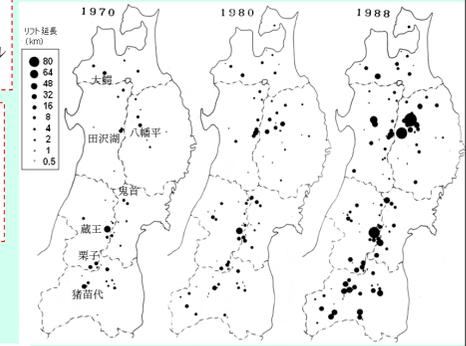
・2つの大成功例が、積雪山村の開発モデルに

⇒とりわけ、3大都市圏と高速道でリンクした新潟、長野、東北の積雪山村で、スキー場の開発、規模拡大、誘客競争が激化。

①トマム・リゾート
 ・1981年の石勝線の開通にあわせ、関兵精妻と占冠村の参加で、リゾート開発に着手。
 ・中核施設 ... スキー場, 会員制ゴルフ, ホテル
 ・「リゾート法」の適用でさらに拡大

②安比高原
 ・1980, 安比総合開発(リクルート系)設立
 ・1981, 安比高原スキー場開業
 ・1985, 安比グランドホテル開業。
 ・以後, スキーコース拡大, ホテル機能増強, 温泉掘削などにより, 「総合リゾート」へ。

↓「索道」(リフト, ロープウェイ等)からみたスキー場開発



・ユーミンが歌う主題歌「サブ天国, スキー天国」もヒット。
 ・スキーは当時の若者の「ファッション」に。

・高速交通網の延伸は、余暇時間が拡大し、リゾート開発が推進された時代背景ともあいまって、「雪」を観光資源に、積雪山村を観光地に変貌させた。

仙台環状高速, 大衡IC

・「ポテンシャル」の高まりが誘引した高速道路とIC



2010.3.28 北部道路の開通で環状化



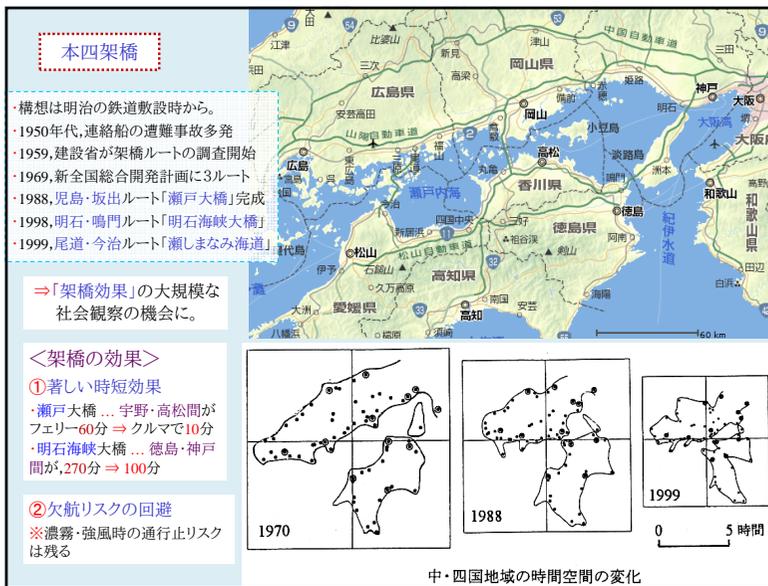
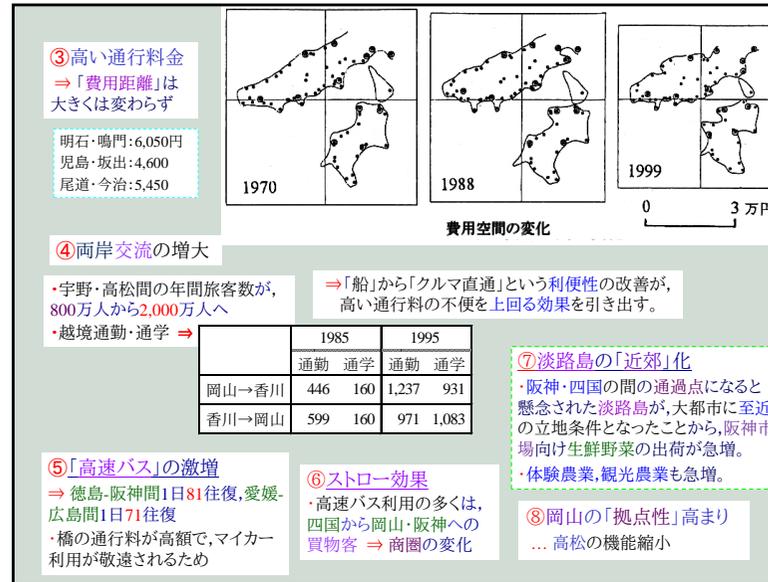
2010.12.18 大衡IC開通

「雪国」の激変 - 越後湯沢

- ・近世: 三国峠越えの宿場町
- ・1931, 三国トンネル開削し, 上越線開通, 岩原スキー場開業。
- ・1966, 国道17号舗装。苗場スキー場開業
- ・1982, 上越新幹線開通
- ・1985, 関越自動車道開通



大型建物の大半はリゾート・マンション





新幹線の影響

・一般的・理論的には…

・直接効果

- +: 観光客増加, 企業進出
- : 日帰り出張増加=宿泊減, 人口流出加速=スロー効果

士?: 通勤通学, 買物圏拡大

・間接効果

- +: 開通・新駅開業を起爆剤とした都市開発, 地域づくり
- : 広域都市間競争の激化, 並行在来線の利用減少, 空港利用の減少

★実際は…

- ・人口・経済の集積量と密度, 観光資源, 時短程度, 新駅の位置, 都市・沿線の魅力度によって異なる

八戸・青森新幹線

- ・八戸開通 … 2002年12月 ⇒ 八戸・青森で熱気に違い
- ・青森延伸 … 2010年12月 (函館延伸 … 2016年3月)
- ・時短状況 … 3時間前後で大差なし

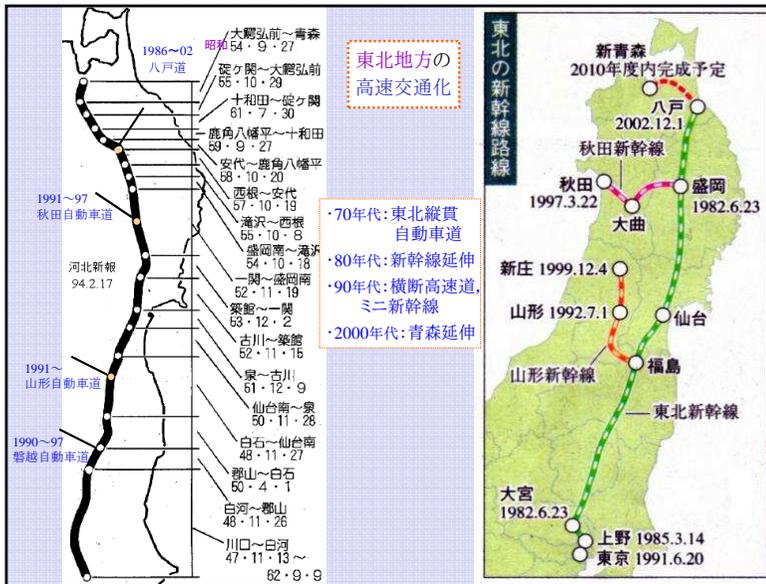
 - ・東京・八戸 … 37分短縮, 2時間56分
 - ・東京・青森 … 67分短縮, 3時間20分

- ・都市開発施策

 - ・八戸 … 新駅は都心から5km西. 尻内駅と一体. 元来, 複数拠点の広域市街地を前提に都市づくりを実施。
 - ・青森 … 新駅は都心から4km西. 1998年設置. コンパクトシティ政策のさなかで, 新駅前の開発を抑制

- ・産業特性

 - ・八戸 … 水産都市。「北のグルメ都市」, 屋台村, 朝市で活路
 - ・青森 … 行政・交通都市, 産業集積希薄



・三内丸山 … 歴史ファン

・ねぶた … 時期限定

都心部から新幹線駅までの速さが問題

2011.01 ねぶた常設展示「ワ・ラッセ」開館

・三内丸山 … 世界遺産めざす

↑情報宿泊拠点「ユートリー」

・北のグルメ都市

